

個別施設整理番号	209-2-1	林道台帳索引番号	209-2	施設管理者	島田市
路線名	大森線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	井戸川橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	7.100 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.82m(6.30m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明
	橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道大森線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月12日				
	調査結果	主桁にひびわれ、床版に剥離・鉄筋露出、豎壁にその他(土砂堆積)、舗装に変形・欠損、路面の凹凸、防護柵に変形・欠損、腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-2-2	林道台帳索引番号	209-2	施設管理者	島田市
路線名	大森線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	高島橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	7.900 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.92m(15.50m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明
	橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える		
	施設の目的利用実態等	林道大森線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。				
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月11日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、袖擁壁に沈下・移動・傾斜が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-2-3	林道台帳索引番号	209-2	施設管理者	島田市
路線名	大森線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大平橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	8.000 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.54m(11.12m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道大森線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月12日				
	調査結果	主桁にひびわれ、床版にひびわれ、剥離・鉄筋露出が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁・床版のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。 床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-2-4	林道台帳索引番号	209-2	施設管理者	島田市
路線名	大森線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	石ノ沢橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	8.100 km	建設年度	1968
供用年数	51年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.32m(5.80m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明		基礎形式	不明
	橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える		
	施設の目的利用実態等	林道大森線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。				
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月12日				
	調査結果	横桁に剥離・鉄筋露出、フーチングに洗掘が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	横桁の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-6-1	林道台帳索引番号	209-6	施設管理者	島田市
路線名	大草線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	東光寺新橋
施設の所在地	島田市大字東光寺	起点からの距離	0.000 km	建設年度	1968
供用年数	51年	種別	PC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.02m(7.60m)		幅員(車道幅員)	4.50m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	PC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道大草線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月17日				
	調査結果	床版にその他(遊離石灰)、防護柵に変形・欠損、腐食、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版のその他(遊離石灰)は橋面の防水不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-8-1	林道台帳索引番号	209-8	施設管理者	島田市
路線名	小川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	峠沢橋
施設の所在地	島田市大字伊久美	起点からの距離	0.700 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.90m(8.38m)		幅員(車道幅員)	4.03m(3.63m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道小川線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月10日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、床版に剥離・鉄筋露出、変形・欠損、豎壁にうき、排水管・添架物に腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁、床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-9-1	林道台帳索引番号	209-9	施設管理者	島田市
路線名	坤谷線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字大草	起点からの距離	0.400 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.55m(5.22m)		幅員(車道幅員)	3.90m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道坤谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月17日				
	調査結果	主桁にうき、変形・欠損、剥離・鉄筋露出、舗装にその他(土砂堆積)が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-10-1	林道台帳索引番号	209-10	施設管理者	島田市
路線名	伊久美線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	敷島橋
施設の所在地	島田市大字伊久美	起点からの距離	0.600 km	建設年度	1989
供用年数	30年	種別	RC橋・PC橋	型式	T桁橋・床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.44m(9.90m)		幅員(車道幅員)	6.20m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)・PC橋(単純プレテンション床版橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	鋼板平面支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道伊久美線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月12日				
	調査結果	主桁にうき、剥離・鉄筋露出、横桁にうき、漏水・遊離石灰、床版に剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装に路面の凹凸、舗装の異常、防護柵に防食機能の劣化、排水管に腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁、横桁、床版のうきや剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円					
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-10-2	林道台帳索引番号	209-10	施設管理者	島田市
路線名	伊久美線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	堂之橋
施設の所在地	島田市大字伊久美	起点からの距離	0.800 km	建設年度	1962
供用年数	57年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.42m(9.82m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道伊久美線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月12日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、うき、床版に剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰、豎壁にひびわれ、防護柵に変形・欠損、腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁、床版の剥離・鉄筋露出、うきは鉄筋の被り不足が原因と思われる。豎壁の水平ひびわれは建設時の打継不良が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-11-1	林道台帳索引番号	209-11	施設管理者	島田市
路線名	会下沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字大草	起点からの距離	1.100 km	建設年度	1963
供用年数	56年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	4.12m(3.83m)		幅員(車道幅員)	3.84m(3.46m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道会下沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月17日				
	調査結果	主桁にその他(異物混入)が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	施工時の不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-12-1	林道台帳索引番号	209-12	施設管理者	島田市
路線名	西の谷線	林道種類及び区分	自動車道2級軽車道	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字相賀	起点からの距離	0.400 km	建設年度	1990
供用年数	29年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.40m(5.98m)		幅員(車道幅員)	4.80m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道西の谷線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月17日				
	調査結果	特に損傷は見られない。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	特になし。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	特に損傷は無いことから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-13-1	林道台帳索引番号	209-13	施設管理者	島田市
路線名	大平三並線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	新大平橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	0.500 km	建設年度	1998
供用年数	21年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成6年:鋼橋/道路橋示方書	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.44m(18.00m)		幅員(車道幅員)	5.20m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490W他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道大平三並線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月11日				
	調査結果	縦壁にひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装に路面の凹凸、防護柵に防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	縦壁のひびわれ、漏水・遊離石灰は打ち重ね不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	209-13-2	林道台帳索引番号	209-13	施設管理者	島田市
路線名	大平三並線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	ろくろ沢橋
施設の所在地	島田市大字笹間下	起点からの距離	2.400 km	建設年度	2004
供用年数	15年	種別	PC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.50m(9.06m)		幅員(車道幅員)	7.70m(6.50m)
	施設の構造等	上部工型式	PC橋(単純プレテンション床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道大平三並線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月10日				
	調査結果	特になし。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	特になし。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	特に損傷は無いことから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	425-001-1	林道台帳索引番号	425-001	施設管理者	島田市
路線名	八高山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	童子橋
施設の所在地	島田市大字大代	起点からの距離	0.700 km	建設年度	1994
供用年数	25年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	30.00m(29.40m)		幅員(車道幅員)	6.95m(5.75m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純活荷重合成鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490YA他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道八高山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月8日				
	調査結果	床版にひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装に路面の凹凸、伸縮装置に土砂詰まり、防護柵に防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	425-001-2	林道台帳索引番号	425-001	施設管理者	島田市
路線名	八高山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	神尾山橋
施設の所在地	島田市大字大代	起点からの距離	5.200 km	建設年度	2007
供用年数	12年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	平成16年:鋼橋/道路橋示方書	規格(設計荷重)	A活荷重	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.00m(26.30m)		幅員(車道幅員)	6.20m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純非合成鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490W他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道八高山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月18日				
	調査結果	主桁にその他(不法占有)、床版に剥離・鉄筋露出、ひびわれ、豎壁にうき、地覆に剥離・鉄筋露出、防護柵に防食機能の劣化、その他(託書き)が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	425-002-1	林道台帳索引番号	425-002	施設管理者	島田市
路線名	高熊線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字高熊	起点からの距離	1.900 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.52m(5.12m)		幅員(車道幅員)	4.85m(4.35m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道高熊線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月18日				
	調査結果	フーチング・袖擁壁に洗掘が見られる。				
	健全性の診断結果	(早期措置段階)	橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ず必要がある。			
	劣化原因	フーチング下部が当初から岩着していないと思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	根継工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。			
対策費用(概算)	補修工事 約500千円					
管理方法	基礎の洗掘が大きく、今後洗掘が進行すると下部工の安定が損なわれる可能性があることから、早期に補修を施すことが望ましいと思われる。また、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16			0.5		18				
対策の内容・実施時期	定期点検			補修工事		定期点検				

備考

個別施設整理番号	425-008-1	林道台帳索引番号	425-008	施設管理者	島田市
路線名	福用線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字福用	起点からの距離	1.000 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床版橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	7.48m(6.92m)		幅員(車道幅員)	4.57m(3.67m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床版橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道福用線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月18日				
	調査結果	主桁に変形・欠損、その他(遊離石灰)、防護柵に変形・欠損、防食機能の劣化、地覆にひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装にその他(土砂堆積)が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁の変形・欠損は流木などの衝突によるものと推定される。またその他(遊離石灰)は躯体内部の空洞(豆板)などが水みちになっていると思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	426-003-1	林道台帳索引番号	426-003	施設管理者	島田市
路線名	家山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町抜里	起点からの距離	0.700 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	谷

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.65m(13.03m)		幅員(車道幅員)	2.52m(2.22m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道家山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月18日				
	調査結果	主桁、横桁、床版に剥離・鉄筋露出、豎壁にその他(土砂堆積)、防護柵に変形・欠損、防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁、横桁、床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-003-2	林道台帳索引番号	426-003	施設管理者	島田市
路線名	家山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	登橋
施設の所在地	島田市大字川根町抜里	起点からの距離	1.600 km	建設年度	1980
供用年数	39年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.00m(19.56m)		幅員(車道幅員)	6.88m(5.68m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(活荷重合成桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SD30他	塗装使用の有無	有
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道家山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月19日				
	調査結果	主桁、横桁、支承本体に腐食、防護柵に腐食、変形・欠損、ボルトの脱落、地覆に変形・欠損、ひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	各所の腐食は経年劣化によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円					
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

個別施設整理番号	426-003-3	林道台帳索引番号	426-003	施設管理者	島田市
路線名	家山線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	鶴橋
施設の所在地	島田市大字川根町抜里	起点からの距離	1.700 km	建設年度	1981
供用年数	38年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.00m(19.56m)		幅員(車道幅員)	6.95m(5.75m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SD30他	塗装使用の有無	有
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道家山線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月19日				
	調査結果	主桁、縦桁、横桁、支承本体に腐食、沓座モルタルに変形・欠損、防護柵に変形・欠損、腐食、地覆にうき、剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	各所の腐食は経年劣化によるものと推定される。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-004-1	林道台帳索引番号	426-004	施設管理者	島田市
路線名	日掛線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	白平大橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	3.200 km	建設年度	1986
供用年数	33年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	48.00m(47.00m)		幅員(車道幅員)	5.00m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA50AW他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道日掛線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月9日				
	調査結果	主桁に防食機能の劣化、床版にひびわれ、漏水・遊離石灰、防護柵に防食機能の劣化、伸縮装置に漏水・滞水が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	伸縮装置に橋面雨水の流入があるが防水装置がないために主桁や支承本体に流れている。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円					
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-004-2	林道台帳索引番号	426-004	施設管理者	島田市
路線名	日掛線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	笹間川大橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	3.400 km	建設年度	1986
供用年数	33年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	45.00m(44.00m)		幅員(車道幅員)	5.00m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA50AW他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道日掛線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月9日				
	調査結果	主桁、縦桁に防食機能の劣化、舗装に路面の凹凸、地覆にひびわれ、防護柵に防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁、縦桁に見られる部分的な防食機能の劣化は雨水の影響と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-005-1	林道台帳索引番号	426-005	施設管理者	島田市
路線名	湯島線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上島橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	0.200 km	建設年度	1967
供用年数	52年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.82m(18.40m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的利用実態等	林道湯島線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月16日				
	調査結果	床版に剥離・鉄筋露出が見られる。直上の舗装も損傷が見られ抜け落ちに繋がる危険がある。				
	健全性の診断結果	(早期措置段階)	橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ず必要がある。			
	劣化原因	床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足とともにコンクリートの品質不良が原因と思われる。また橋直前で鋭角に曲がる線形であることから車両の荷重による損傷とも思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	断面修復工、ひび割れ補修工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和3年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。			
	対策費用(概算)	補修工事 約8,800千円				
管理方法	A2橋台付近の床版下面の剥離・鉄筋露出は、直上の舗装に損傷が認められ床版の抜け落ちの可能性も考えられるため早期の補修が望ましいと思われる。また、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16		8.8			18				
対策の内容・実施時期	定期点検		補修工事			定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-005-2	林道台帳索引番号	426-005	施設管理者	島田市
路線名	湯島線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	1.200 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.42m(8.90m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	鋼板平面支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道湯島線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月22日				
	調査結果	主桁にうき、胸壁・翼壁にひびわれ、舗装に路面の凹凸、防護柵に腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	翼壁のひびわれは建設時の打ち重ね不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-005-3	林道台帳索引番号	426-005	施設管理者	島田市
路線名	湯島線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	湯島橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	2.400 km	建設年度	1952
供用年数	67年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.84m(6.22m)		幅員(車道幅員)	4.40m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道湯島線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月22日				
	調査結果	横桁、床版に剥離・鉄筋露出、豎壁にひびわれ、変形・欠損、フーチングに洗掘、防護柵に剥離・鉄筋露出が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	横桁、床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-006-1	林道台帳索引番号	426-006	施設管理者	島田市
路線名	市井平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	市井平橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	0.000 km	建設年度	1959
供用年数	60年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.83m(11.10m+6.90m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
	橋脚工型式	不明	海岸からの距離	200mを超える		
	施設の目的利用実態等	林道市井平線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。				
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月16日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、うき、横桁に剥離・鉄筋露出、床版にひびわれ、漏水・遊離石灰、胸壁にひびわれ、うき、縦壁にひびわれ、漏水・遊離石灰、防護柵に剥離・鉄筋露出、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁、横桁の剥離・鉄筋露出、うきは鉄筋の被り不足とともにコンクリートの品質不良が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-006-2	林道台帳索引番号	426-006	施設管理者	島田市
路線名	市井平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	0.700 km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.04m(5.68m)		幅員(車道幅員)	3.96m(3.36m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道市井平線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月16日				
	調査結果	フーチングに洗掘が見られる。				
	健全性の 診断結果	(早期措置段階)	橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ず必要がある。			
	劣化原因	床版の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。 フーチング下部の洗掘は当初から岩着していないと思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	断面修復工、根継工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和4年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。			
対策費用 (概算)	補修工事 約500千円					
管理 方法	管理方法	主桁の損傷の範囲が広く、また基礎の洗掘が大きいため橋の機能に支障を生じる可能性が考えられるため早期の補修が望ましいと思われる。また、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16			0.5		18				
対策の内容・実施時期	定期点検			補修工事		定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-007-1	林道台帳索引番号	426-007	施設管理者	島田市
路線名	下泉笹間線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第1号橋梁
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	0.100 km	建設年度	1971
供用年数	48年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.60m(9.08m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道下泉笹間線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月9日				
	調査結果	縦壁にひびわれ、漏水・遊離石灰、フーチングに洗掘、防護柵、添架物に腐食、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	縦壁の水平ひびわれ、漏水・遊離石灰はコンクリートの打継不良と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-007-2	林道台帳索引番号	426-007	施設管理者	島田市
路線名	下泉笹間線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第2号橋梁
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	4.200 km	建設年度	1976
供用年数	43年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.46m(15.00m)		幅員(車道幅員)	5.20m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道下泉笹間線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月9日				
	調査結果	主桁、支承本体に腐食、横桁に防食機能の劣化、防護柵に防食機能の劣化、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁、支承本体の腐食は経年劣化によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備 考

個別施設整理番号	426-007-3	林道台帳索引番号	426-007	施設管理者	島田市
路線名	下泉笹間線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	第3号橋梁
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	4.300 km	建設年度	1977
供用年数	42年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.55m(10.03m)		幅員(車道幅員)	6.40m(5.50m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道下泉笹間線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月9日				
	調査結果	防護柵に防食機能の劣化、変形・欠損、地覆に変形・欠損、舗装にその他(土砂堆積)が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	地覆の変形・欠損は流木なごの衝突によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-008-1	林道台帳索引番号	426-008	施設管理者	島田市
路線名	明ヶ島線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	新協和橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	0.000 km	建設年度	1992
供用年数	27年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	38.00m(37.20m)		幅員(車道幅員)	6.20m(5.00m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純合成鋼桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA570W他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	突桁式鉄筋コンクリート橋台		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道明ヶ島線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月8日				
	調査結果	床版にひびわれ、漏水・遊離石灰、豎壁にその他(不法占有)、防護柵に防食機能の劣化、舗装に路面の凹凸、地覆にひびわれ、漏水・遊離石灰が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-008-2	林道台帳索引番号	426-008	施設管理者	島田市
路線名	明ヶ島線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	1.700 km	建設年度	1961
供用年数	58年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.57m(5.23m)		幅員(車道幅員)	4.43m(4.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道明ヶ島線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月18日				
	調査結果	フーチングに洗掘、防護柵に防食機能の劣化、地覆に剥離・鉄筋露出、変形・欠損が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	地覆の変形・欠損は流木なごの衝突によるものと推定される。				
長寿命化計画の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-009-1	林道台帳索引番号	426-009	施設管理者	島田市
路線名	葛籠線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	宮沢橋
施設の所在地	島田市大字川根町葛籠	起点からの距離	1.100 km	建設年度	2004
供用年数	15年	種別	PC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	平成8年・コンクリート橋 / 道路橋示方書	規格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	11.00m(10.46m)		幅員(車道幅員)	6.70m(5.50m)
	施設の構造等	上部工型式	プレテンションPCスラブ橋			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	帯状ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道葛籠線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月19日				
	調査結果	縦壁に漏水・滞水、防護柵に変形・欠損、防食機能の劣化、地覆にひびわれ、漏水・遊離石灰が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	地覆のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。防護柵支柱近傍ではひびわれが誘発される。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-010-1	林道台帳索引番号	426-010	施設管理者	島田市
路線名	不動沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	不動沢橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	0.100 km	建設年度	1968
供用年数	51年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.47m(15.03m)		幅員(車道幅員)	4.30m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道不動沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月8日				
	調査結果	主桁、横桁、支承本体に腐食、床版に剥離・鉄筋露出、ひびわれ、漏水・遊離石灰、排水管、防護柵に腐食、舗装に路面の凹凸が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	各所の腐食は経年劣化によるものと推定される。 床版の剥離・鉄筋露出はコンクリート品質不良が原因と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円					
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-010-2	林道台帳索引番号	426-010	施設管理者	島田市
路線名	不動沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間上	起点からの距離	1.200 km	建設年度	1969
供用年数	50年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.38m(7.86m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道不動沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月8日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、フーチングに洗掘、防護柵に防食機能の劣化、変形・欠損、舗装にその他(土砂堆積)、排水管に腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(早期措置段階)	橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ず必要がある。			
	劣化原因	フーチング下部の洗掘は当初から岩着していないと思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	断面修復工、根継工による補修を行う。				
	実施予定時期	令和5年度に実施する。				
	施設の優先度	高	(優先度の考え方) 早期措置段階のため、優先度は「高」とした。			
	対策費用 (概算)	補修工事 約700千円				
管理 方法	主桁の損傷の範囲が広く、また基礎の洗掘が大きいため橋の機能に支障を生じる可能性が考えられるため早期の補修が望ましいと思われる。また、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16				0.7	18				
対策の内容・実施時期	定期点検				補修工事	定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-013-1	林道台帳索引番号	426-013	施設管理者	島田市
路線名	南沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	南沢橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	1.900 km	建設年度	1964
供用年数	55年	種別	RC橋	型式	T桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.02m(8.50m)		幅員(車道幅員)	4.55m(4.05m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純T桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道南沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月22日				
	調査結果	主桁、横桁、床版に剥離・鉄筋露出、その他(異物混入)、フーチングに洗掘、防護柵に腐食、舗装にその他(土砂堆積)が見られる。				
	健全性の診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	横桁、床版の異物混入は建設当初からで主桁に見える鉄筋もクズ鉄筋の疑いがある。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円				
管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-015-1	林道台帳索引番号	426-015	施設管理者	島田市
路線名	上手川線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町抜里	起点からの距離	1.400 km	建設年度	1968
供用年数	51年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	河川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.98m(5.56m)		幅員(車道幅員)	4.00m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的利用実態等	林道上手川線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	2019年7月19日				
	調査結果	主桁に剥離・鉄筋露出、舗装にその他(土砂堆積)が見られる。				
	健全性の診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	主桁の剥離・鉄筋露出は鉄筋の被り不足が原因と思われる。				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用(概算)	定期点検 約18,000千円					
管理方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-019-1	林道台帳索引番号	426-019	施設管理者	島田市
路線名	峯倉平線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	横山橋
施設の所在地	島田市大字川根町葛籬	起点からの距離	3.900 km	建設年度	1972
供用年数	47年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.45m(16.03m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	不明	塗装使用の有無	有
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道峯倉平線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月16日				
	調査結果	主桁、支承本体に腐食、横桁に防食機能の劣化、床版に剥離・鉄筋露出、排水管に腐食、防護柵に腐食、変形・欠損、袖擁壁に変形・欠損、添架物に腐食が見られる。				
	健全性の 診断結果	(予防保全段階)	橋の機能に支障は生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい。			
	劣化原因	各所の腐食は経年劣化によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	中	(優先度の考え方) 予防保全段階のため、優先度は「中」とした。			
対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円					
管理 方法	橋の機能に支障が生じるほどの損傷は認められないため、5年に1回の定期点検にて損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。また、予防保全の観点から必要に応じ補修を行うなどの対策を行う。					

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-020-1	林道台帳索引番号	426-020	施設管理者	島田市
路線名	根木沢線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間下	起点からの距離	0.200 km	建設年度	1972
供用年数	47年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.22m(5.70m)		幅員(車道幅員)	4.03m(3.53m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道根木沢線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月19日				
	調査結果	縦壁にひびわれ、地覆に変形・欠損、防護柵に変形・欠損、ボルトの脱落、防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	縦壁の水平ひびわれはコンクリートの打継不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-021-1	林道台帳索引番号	426-021	施設管理者	島田市
路線名	マワクナ線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	マワクナ橋
施設の所在地	島田市大字川根町家山	起点からの距離	0.200 km	建設年度	1978
供用年数	41年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.00m(8.58m)		幅員(車道幅員)	4.20m(3.60m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道マワクナ線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月16日				
	調査結果	排水管に腐食、防護柵に防食機能の劣化、舗装にその他(土砂堆積)、地覆に漏水・遊離石灰が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	地覆の漏水・遊離石灰はコンクリートの打ち重ね不良と思われる。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-024-1	林道台帳索引番号	426-024	施設管理者	島田市
路線名	笹間渡線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間渡	起点からの距離	1.100 km	建設年度	1961
供用年数	58年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.42m(5.10m)		幅員(車道幅員)	3.90m(3.50m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道笹間渡線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月22日				
	調査結果	主桁に変形・欠損、地覆に変形・欠損が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁、地覆の変形・欠損は流木などの衝突によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-024-2	林道台帳索引番号	426-024	施設管理者	島田市
路線名	笹間渡線	林道種類及び区分	自動車道3級	橋梁名	無名橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間渡	起点からの距離	1.900 km	建設年度	1962
供用年数	57年	種別	RC橋	型式	床板橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.57m(6.25m)		幅員(車道幅員)	3.36m(3.00m)
	施設の構造等	上部工型式	RC橋(単純床板橋)			
			鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無	
		支承型式	不明	落橋防止の有無	無	
		橋台工型式	不明	基礎形式	不明	
橋脚工型式		海岸からの距離	200mを超える			
施設の目的 利用実態等	林道笹間渡線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻繁に利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月22日				
	調査結果	主桁に変形・欠損、剥離・鉄筋露出、地覆にひびわれ、漏水・遊離石灰が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	主桁の変形・欠損、剥離・鉄筋露出は流木などの衝突によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	426-031-1	林道台帳索引番号	426-031	施設管理者	島田市
路線名	大平三並線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	澤谷橋
施設の所在地	島田市大字川根町笹間下	起点からの距離	4.300 km	建設年度	1999
供用年数	20年	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	規格(設計荷重)	不明	橋下条件	沢

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.00m(11.50m)		幅員(車道幅員)	7.45m(6.25m)
	施設の構造等	上部工型式	鋼橋(単純H桁橋)			
			鋼製(使用鋼材)	SMA490W他	塗装使用の有無	無
		支承型式	線支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	不明		基礎形式	不明	
橋脚工型式			海岸からの距離	200mを超える		
施設の目的 利用実態等	林道大平三並線の利用区域には、早期に整備すべき森林が多く存在することから、当該施設は森林組合等により頻りに利用されている。また、当該林道は近隣地域を結ぶ生活道としての機能も有しており、地域住民の利用も見られる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	2019年7月10日				
	調査結果	床版にひびわれ、防護柵に防食機能の劣化が見られる。				
	健全性の 診断結果	(健全)	橋の機能に支障は生じていない。			
	劣化原因	床版のひびわれは乾燥収縮によるものと推定される。				
長寿 命化 計画 の 内容	計画期間	令和元年度～令和5年度				
	内容	定期点検を行う。				
	実施予定時期	令和6年度に実施する。				
	施設の優先度	低	(優先度の考え方) 健全のため、優先度は「低」とした。			
	対策費用 (概算)	定期点検 約18,000千円				
管理 方法	管理方法	損傷は軽微なものであることから、5年に1回の定期点検を行い、損傷の進行の有無の確認、路面および橋座面の清掃等維持作業を適切に行う。				

	令和1年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年
対策費用(百万円)	16					18				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考